

## 教育環境分科会 2010 年度 第 1 回会合 プログラム

**テーマ：今の大学に何が欠けているか  
 —大学センターのなすべき課題—**

- 日 時：2010 年 9 月 6 日(月) 13:15 ~19:30 [12:45 受付開始]
- 会 場：富士通(株)本社 24 階 大会議室 [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 参加対象：**本会合は、SS 研、CS 研、IS 研会員の皆さまにご参加いただけます。**
- 定 員：100 名(予定)

**開催趣旨**

情報通信技術 (ICT) は大学などの高等教育機関に導入され、教育研究活動の効率化に大きく貢献してきました。すなわちこれまで「紙」中心で構築された教育研究環境が電子化されてきたわけです。これに対して、10 年ほど前からは、ICT を活用することで、どのようにして教育の効果や質を高められるか、また、高等教育機関が社会に対してどのような貢献をして責任を果たすかという視点からも展開が進んできています。そこで今年度の教育環境分科会では、まず、現状での課題を整理してその解決法を探ることにしました。さらに、次代を担う世代を我が国の高等教育機関で育てるための理想的な教育研究環境について、ICT を中軸に据えた形で「夢」を語る場を提供することを活動方針としています。

第 1 回分科会では、「今の大学に何が欠けているか —大学センターのなすべき課題—」と題し、セキュリティと著作権およびソフトウェアライセンス管理に関して先駆的な事例および現状の問題をご紹介します。特に情報系センターの立場でなすべきことを会員の皆さまと議論を深めたいと考えております。

セキュリティについては、まずウイルスによる脅威の現状を確認し、管理者にとって何が問題かをプロの視点からアドバイスを頂きます。次に、オープンコースウェアに代表されるような大学の教育用コンテンツを発信する場合の著作権処理について、特に CC (Creative Commons) ライセンスを活用した事例を中心に最新動向を紹介して頂きます。最後に、ソフトウェアの使用ライセンスの管理の現状と包括ライセンス契約の動きについて、皆様との意見交換を予定しています。

なお、分科会に引き続き懇親会を企画させていただいております。気楽な形で交流できる場ですから、ぜひこちらにも奮ってご参加ください。

**プログラム** [敬称略]

開会挨拶	中西 通雄 (大阪工業大学)	13:15~13:20
<b>◆セキュリティセッション</b> 司会 及川義道 (東海大学)		
(1) 高等教育機関におけるセキュリティ脅威の最新動向とその対策 —ウイルス感染から見えるアンチウイルスの限界と今後— 名古屋大学 情報基盤センター 教授 高倉 弘喜		13:20~14:20 報告:50 分 Q&A:10 分
OS の頑強性の向上、firewall や IDS などの普及により、インターネットから直接攻撃を受けてウイルスに感染する事象は激減している。一方で、USB デバイスの PC への接続、いつもの Web サイトにウイルスが埋め込まれるなどにより、PC 利用者が意図せずウイルスを持ち込んでしまう事例が急増している。最近のウイルスは、感染後に様子見のため潜伏期間を設ける、活動開始後も他 PC への感染拡大を試みないなど、用心深く活動する。また、ウイルスの更新、あるいは、盗聴情報の送信のために、外部に設置された Web サーバを利用する。アクセス制限を設けたネットワークでも、proxy 等を介した Web アクセスを許可することは多く、この活動を検知するのは難しい。このため、一度感染を許すと、感染の確認や完全な駆除は難しくなる。 本講演では、このような現状を実際の観測事例を元に説明し、新たな脅威に対する対策手法について述べる。		
(2) セキュリティ監視と救急対応から見える教育現場のセキュリティ —大学教育現場におけるセキュリティ対策の考え方— (株)ラック 取締役 西本 逸郎		14:20~15:20 報告:50 分 Q&A:10 分
教育機関のネットワークやシステムが持つべき役割としては、研究基盤、研究対象、学校運営基盤、学内社会基盤、さらに IT 活用とセキュリティの教育的意義などがあると考えられます。しかし、現状ではセキュリティ上の課題や費用の観点などから適切に活用できていないところも多いのではないかと思います。 このような課題を克服し、魅力ある学校を維持していく上で、教育機関にて発生したセキュリティ事件や IT を取り巻く時代の変化、さらにコストパフォーマンスの観点で、課題を整理し、今後の成すべき対策の指針に関してセキュリティ屋としての目線で、お話をさせていただきます。		
休憩		15:20~15:40
<b>◆著作権セッション</b> 司会 岩田則和 (広島大学)		
(3) 高等教育機関におけるオープンエデュケーションの最新動向 —Creative Commons License による OPENCOURSEWARE の展開— 日本オープンコースウェア・コンソーシアム 代表幹事、 OPENCOURSEWARE Board Member、 慶應義塾大学 デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構 教授 福原 美三		15:40~16:40 報告:50 分 Q&A:10 分
2001 年に MIT がオープンコースウェア(OCW)のコンセプトを発表してから 10 年となる。MIT は OCW を世界に広める活動を同時に推進し、次第に賛同、参加する大学が拡大した。世界的には 2008 年		

に国際コンソーシアムが正式に発足し、200 以上の機関が参加し、15000 以上のコースが公開されている。日本でも国内コンソーシアムを組織し、23 大学が参加、1500 以上のコースが公開されている。 この活動を実現している基本スキームの一つがクリエイティブコモンズライセンスである。		
<b>◆ライセンス管理セッション ※記録をしない、他言無用セッション</b>		
<b>(4) 討論</b> <b>大学におけるソフトウェア管理の現状と包括ライセンス契約の考え方</b> <b>－利用調査、学内合意、攻めの対策…センターが今、なすべきことは何か？－</b>		
<b>話題提供</b> ・包括契約を利用する立場から ・包括契約に慎重な立場から	大阪工業大学 中西 通雄 熊本大学 宇佐川 毅	16:40～16:55 話題提供: 15 分
<b>討論</b>		16:55～17:55 討論: 60 分
<b>休憩</b> - アンケート記入、お帰りになられる方のための時間 -		17:55～18:05
<b>懇親会</b> 会費: ¥500 # お飲み物と乾き物のみをご用意しての、引き続きの「(4)討論」を行います。		18:05～
<b>閉会挨拶(中締め)</b>	中西 通雄 (大阪工業大学)	18:50～19:00 ～19:30

### ■ 会場へのアクセス ■

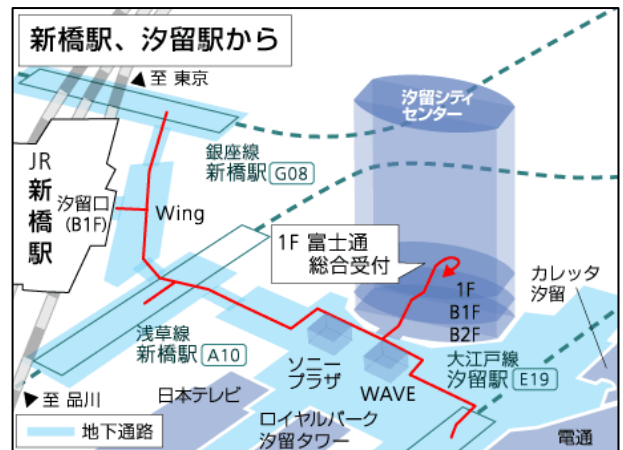
★オフィスロビー(1階)にSS研受付を設置します。受付経由で、24階の大会議室へお越しください。

#### ●電車でのアクセス

- JR 新橋駅
  - 汐留口 (地下1階) から徒歩3分
- 東京メトロ 銀座線 新橋駅 (G08)
  - 出口4 (地下1階) から徒歩3分
- 都営地下鉄 浅草線 新橋駅 (A10)
  - 汐留方面出口 (地下1階) から徒歩2分
- 都営地下鉄 大江戸線 汐留駅 (E19)
  - JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口 (地下2階) から徒歩1分

#### ●羽田空港から新橋駅までのアクセス(約30分)

- 東京モノレールと JR 山手線
  - 羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅
- 京浜急行と都営浅草線
  - 羽田空港 から 都営浅草線 新橋駅 (A10)
  - #成田空港行や押上行など、都営浅草線直通電車をご利用ください。



### ■ 参加について ■

- 参加対象 : SS 研, CS 研, IS 研会員の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費 : 無料 ただし懇親会に参加される場合は、会費として 500 円を徴収させていただきます。
- 定員 : 100 名(予定)です。
- 服装 : クールビズをお勧めします。(室温 28°C)
- ご注意 : 当日、会場にお越しいただく際のエレベータは、昼食時 13:00 くらいまでの時間帯は、大変な混雑が予想されます。ご注意ください。
- なお、当日お越しの際はお名刺をお持ちください。

### ■ お申し込み・詳細 (SS 研ウェブサイト) ■

お申し込み/詳細

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/activity/sectionmeeting/edu/2010-1/program.html>

### 【お問い合わせ】SS 研究会事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター 富士通(株)SS 研究会推進部内

TEL: 03-6252-2582 FAX: 03-6252-2798 URL: <http://www.sskn.gr.jp/> E-mail: [office@sskn.gr.jp](mailto:office@sskn.gr.jp)